

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型/内外/株式	
設定日	2021年9月29日	
信託期間	無期限	
運用方針	この投資信託は、主として外国投資信託への投資を通じて、主に持続可能で脱炭素化に向けたエネルギー移行経済から直接的に影響を受けるセクターや企業、またはこれらのエネルギー移行経済に積極的に貢献するセクターや企業を中心に、グローバル株式を対象とした株式ロングおよびショート両面のアルファを獲得することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 (為替ヘッジあり) 実質的な外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。 (為替ヘッジなし) 実質的な外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	ケイマン籍外国投資信託環境ロング・ショート・ジャパン・マスター・リミテッド	主に持続可能で脱炭素化に向けたエネルギー移行経済から直接的に影響を受けるセクターや企業、またはこれらのエネルギー移行経済に積極的に貢献するセクターや企業を中心に、グローバル株式を対象とした株式ロングおよびショート両面のアルファを獲得することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
	UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を実質的な主たる投資対象とし、円短期金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
主な投資制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②株式への直接投資は行いません。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ④デリバティブ取引の直接利用は行いません。 ⑤同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。ただし、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会の規則に定めるエクスポートジャーガブルクスルーできる場合に該当しないときには、当該投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ⑥一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポートジャー、債券等エクスポートジャーおよびデリバティブ取引等エクスポートジャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。	
分配方針	毎決算時 (原則毎年2月2日および8月2日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。) に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。	

UBS

## 環境ロング・ショート・ファンド (為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)

第2期 運用報告書 (全体版)  
決算日 2022年8月2日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBS環境ロング・ショート・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、去る8月2日に第2期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号  
Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部  
03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時~午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2022. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

**UBS環境ロング・ショート・ファンド  
（為替ヘッジあり）**
**設定以来の運用実績**

決 算 期	基 準 価 額	税 分	込 配	み 金	期 騰 落 中 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
(設 定 日) 2021年9月29日	円 10,000			円 -	% -	% -	百万円 306
1期 (2022年2月2日)	9,401			0	△6.0	99.3	290
2期 (2022年8月2日)	9,174			0	△2.4	98.0	250

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドは、ベンチマーク対比の運用ではなく、アクティブ度の高い運用を行う方針であることから、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

(注5) 投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。（以下同じ）

**当期中の基準価額等の推移**

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
(期 首) 2022年2月2日	円 9,401	% -	% 99.3
2月末	9,425	0.3	99.4
3月末	9,335	△0.7	99.5
4月末	9,297	△1.1	99.4
5月末	9,133	△2.9	100.1
6月末	9,166	△2.5	97.4
7月末	9,099	△3.2	98.0
(期 末) 2022年8月2日	9,174	△2.4	98.0

(注1) 基準価額は1万口当たり。

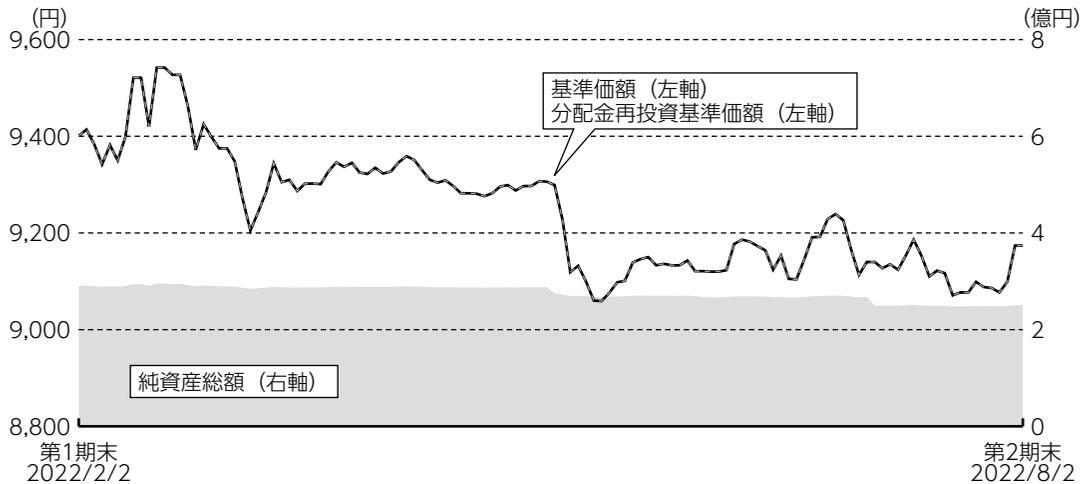
(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは、ベンチマーク対比の運用ではなく、アクティブ度の高い運用を行う方針であることから、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について

(2022年2月2日～2022年8月2日)



第2期首：9,401円

第2期末：9,174円（既払分配金 0円）

騰落率：-2.4%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当期の基準価額は、227円値下がりしました。なお、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は-2.4%となりました。

## 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の主な下落要因は、組入れていた外国投資信託の基準価額が下落したことです。外国投資信託の基準価額が下落した要因として、ショート・ポジションは全般的にプラスに寄与しましたが、利益はロング・ポジションの大きな損失により相殺されました。ロング・ポジションは、市場全体の動きや、コモディティ価格の軟化などのマクロ的な要因により、下落しました。当期の最大の損失は、ロシアとウクライナの紛争や金利上昇（特に米国の住宅ローンやM&Aのレバレッジに関連する懸念）により、欧州へのエクスポージャーが影響を受けたことに起因しました。一方、当期に最もプラスに寄与したポジションは、コモディティ価格の上昇や米国のインフラ投資へのエクスポージャーからの恩恵を受けたポジションが奏功しました。

## 投資環境について

当期の株式市場は変動が激しく推移しました。株式市場は、期の序盤に上昇したものの、ロシアのウクライナ侵攻、継続する新型コロナウイルスの影響、米国のインフレ、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締め、サプライチェーンの分断などが重しとなり、6月にかけて苦戦しました。その後、7月に入り、これまでの下げ幅を縮小しました。2022年2月～2022年8月の期間におけるS&P500指数は大きく下落しましたが、金利上昇、インフレ、地政学的混乱が主な要因となりました。エネルギー価格は特に不安定であり、ロシア・ウクライナ情勢の影響を受けて深刻な状況となりました。電力、ガス、石油、石炭の価格は、ロシアの政策により欧州で極めて高い水準で推移しており、欧州の景気後退が差し迫っているとの懸念が広がっています。欧州経済の混乱の結果、多くの多国籍企業が為替によるマイナスの影響を受けました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンドのポートフォリオについて

期を通じて、環境ロング・ショート・ジャパン・マスター・リミテッド（クラスA-JPY為替ヘッジあり）の組入比率を高位に維持しました。

## 環境ロング・ショート・ジャパン・マスター・リミテッド（クラスA-JPY為替ヘッジあり）のポートフォリオについて

主に持続可能で脱炭素化に向けたエネルギー移行経済\*から直接的に影響を受けるセクターや企業、またはこれらのエネルギー移行経済に積極的に貢献するセクターや企業を中心に、グローバル株式を対象とした株式ロングおよびショート両面のアルファを獲得することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

当期は、全般的に経済成長懸念、インフレ、金利上昇、ロシア・ウクライナ問題、継続する新型コロナウイルスの影響が台頭し、株式市場の下落も相まって、ロング・ポジションが苦戦しました。ショート・ポジションによる利益が一部損失を相殺しましたが、損失のすべてを相殺することはできませんでした。また、外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

\* グローバル規模でのサステナブルかつ脱炭素経済への移行に貢献する経済活動を総称したものの。

## UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・マザーファンドへの投資を通じて、わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行い、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、コール・ローン等での運用を行いました。

### ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ベンチマーク対比の運用ではなく、アクティブ度の高い運用を行う方針であることから、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

### 分配金について

当期は、基準価額水準や市況動向等を勘案し、収益分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳（1万口当たり・税引前）

項目	第2期
	2022年2月3日~2022年8月2日
当期分配金	-円
（対基準価額比率）	(-%)
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	-円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### 投資環境の見通し

市場動向を前もって予測することはできませんが、成長にとっての課題となりうる要因が多数存在していると考えます。それでも、「エネルギー移行経済」に着目する当ファンドの投資対象分野は従来通り、ロングとショート両サイドで豊富な収益機会を提供していると考えています。

2022年2月～2022年8月の期間におけるS&P500指数は大きく下落しましたが、金利上昇、インフレ、地政学的混乱が主な要因となりました。当ファンドのポートフォリオは、より広範なマクロ的背景を考慮して慎重にポジション構築を行いました。その結果、グロス・エクスポージャーは目標レンジの下限を下回り、ネット・エクスポージャーはニュートラルで推移しました。運用チームは、グロス・エクスポージャーを引き続き機動的に引き上げる予定ですが、中央銀行の引き締め継続と業績下方修正の可能性を反映した広範なマクロ環境に対して依然として慎重なスタンスをとっており、ネット・エクスポージャーはニュートラルな水準での推移が継続すると考えています。

### 当ファンドの今後の運用方針

環境ロング・ショート・ジャパン・マスター・リミテッド（クラスA-JPY為替ヘッジあり）の投資比率を高位に維持する方針です。

### 環境ロング・ショート・ジャパン・マスター・リミテッド（クラスA-JPY為替ヘッジあり）の今後の運用方針

市場はマクロの強烈な逆風に直面していますが、運用チームの長期的な運用プランは従来通りで、低炭素経済への移行に貢献する、あるいは移行から影響を受ける企業を見出すことです。短期的には、波乱のマクロ情勢を考慮して、ポートフォリオ全体のネット・エクスポージャーを一段と低く抑えていましたが、運用チームは好機を捉えてエクスポージャーを増やしており、グロス・エクスポージャーは僅かに上昇しています。ネット・エクスポージャーは引き続きほぼニュートラルとなりました。運用チームは、中央銀行の引き締めの継続に伴う広範なマクロ情勢と、企業決算の下方修正が続出する可能性に対して慎重なスタンスを維持していますが、エネルギー転換がもたらす投資機会に対する確信が高く、引き続き強力な投資機会を見出すことができると考えています。

### UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

UBS短期円金利プラス・マザーファンドへの投資を通じて、引き続き、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/2/3~2022/8/2		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	39円	0.420%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,242円です。
（投信会社）	（ 2）	（0.022）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（35）	（0.382）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 2）	（0.016）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	3	0.038	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 1）	（0.012）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（ 2）	（0.025）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（ 0）	（0.001）	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	42	0.458	

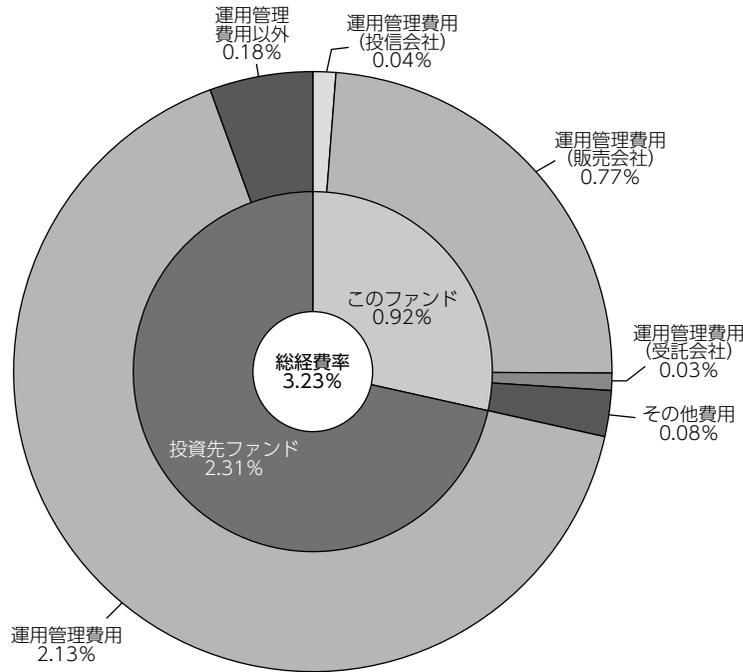
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## （参考情報） 総経費率



総経費率 (①+②+③)	3.23%
①このファンドの費用の比率	0.92%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	2.13%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.23%です。

### 期中の売買及び取引の状況 (自 2022年2月3日 至 2022年8月2日)

#### 投資信託証券

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	Environmental Long Short Japan Master Limited (Class A-JPY Hedged Shares)	□ 1	千円 10	□ 4,007	千円 37,010

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

### 利害関係人等との取引状況等 (自 2022年2月3日 至 2022年8月2日)

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

### 組入資産明細表 (2022年8月2日現在)

#### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期 首	当 期		末
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	□ 10,058	□ 10,058	千円 9	% 0.0
Environmental Long Short Japan Master Limited (Class A-JPY Hedged Shares)	30,600	26,594	245,808	98.0
合 計	40,658	36,652	245,818	98.0

(注) 単位未満は切り捨て。

### 投資信託財産の構成

(2022年8月2日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 9	% 0.0
投 資 証 券	245,808	97.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	6,283	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	252,100	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年8月2日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	252,100,340円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,271,548
投資信託受益証券(評価額)	9,988
投 資 証 券(評価額)	245,808,804
未 収 入 金	10,000
(B) 負 債	1,275,433
未 払 金	10,000
未 払 信 託 報 酬	1,161,101
未 払 利 息	17
そ の 他 未 払 費 用	104,315
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	250,824,907
元 本	273,408,050
次 期 繰 越 損 益 金	△ 22,583,143
(D) 受 益 権 総 口 数	273,408,050口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,174円

〈注記事項〉

期首元本額	308,966,584円
期中追加設定元本額	259,477円
期中一部解約元本額	35,818,011円
1口当たり純資産額	0.9174円

純資産総額が元本を下回っており、その差額は22,583,143円です。

## 損益の状況

(自2022年2月3日 至2022年8月2日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,864円
支 払 利 息	△ 1,864
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,941,714
売 買 益	554,983
売 買 損	△ 5,496,697
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,265,416
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 6,208,994
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△16,330,342
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 43,807
(配 当 等 相 当 額)	(△ 6)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 43,801)
(G) 計 (D+E+F)	△22,583,143
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△22,583,143
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 43,807
(配 当 等 相 当 額)	(△ 6)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 43,801)
繰 越 損 益 金	△22,539,336

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円) より分配対象収益は0円 (10,000口当たり0円) ですが、分配を行っておりません。

## UBS環境ロング・ショート・ファンド （為替ヘッジなし）

### 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	税 込 分	込 配 金	期 騰 落 中 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
（設 定 日） 2021年9月29日	円 10,000		円 -	% -	% -	百万円 867
1期（2022年2月2日）	9,731		0	△ 2.7	100.6	1,022
2期（2022年8月2日）	11,137		0	14.4	99.7	1,105

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドは、ベンチマーク対比の運用ではなく、アクティブ度の高い運用を行う方針であることから、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

(注5) 投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。（以下同じ）

### 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落	率	
（期 首） 2022年2月2日	円 9,731		% -	% 100.6
2月末	9,797		0.7	99.7
3月末	10,325		6.1	100.1
4月末	10,648		9.4	100.2
5月末	10,458		7.5	100.3
6月末	11,259		15.7	99.5
7月末	11,232		15.4	99.7
（期 末） 2022年8月2日	11,137		14.4	99.7

(注1) 基準価額は1万口当たり。

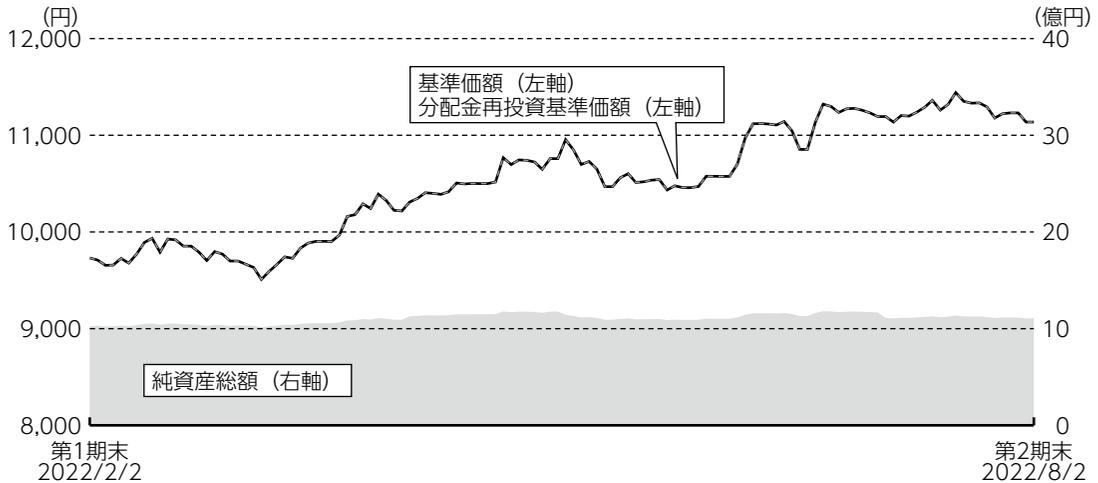
(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは、ベンチマーク対比の運用ではなく、アクティブ度の高い運用を行う方針であることから、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について

(2022年2月2日～2022年8月2日)



第2期首： 9,731円

第2期末： 11,137円（既払分配金 0円）

騰落率： 14.4%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当期の基準価額は、1,406円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は14.4%となりました。

## 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の主な上昇要因は、組入れていた外国投資信託の基準価額が上昇したことです。外国投資信託のドルベースでのパフォーマンスはマイナスでしたが、期中に進んだ円安の影響により、円ベースでは前期末比で大きく上昇して期を終えました。ドルベースの外国投資信託のポートフォリオにおけるパフォーマンス要因は、ショート・ポジションが全般的にプラスに寄与しましたが、利益はロング・ポジションの大きな損失により相殺されました。ロング・ポジションは、市場全体の動きや、コモディティ価格の軟化などのマクロ的な要因により、下落しました。当期の最大の損失は、ロシアとウクライナの紛争や金利上昇（特に米国の住宅ローンやM&Aのレバレッジに関連する懸念）により、欧州へのエクスポージャーが影響を受けたことに起因しました。一方、当期に最もプラスに寄与したポジションは、コモディティ価格の上昇や米国のインフラ投資へのエクスポージャーからの恩恵を受けたポジションが奏功しました。

## 投資環境について

当期の株式市場は変動が激しく推移しました。株式市場は、期の序盤に上昇したものの、ロシアのウクライナ侵攻、継続する新型コロナウイルスの影響、米国のインフレ、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締め、サプライチェーンの分断などが重しとなり、6月にかけて苦戦しました。その後、7月に入り、これまでの下げ幅を縮小しました。2022年2月～2022年8月の期間におけるS&P500指数は大きく下落しましたが、金利上昇、インフレ、地政学的混乱が主な要因となりました。エネルギー価格は特に不安定であり、ロシア・ウクライナ情勢の影響を受けて深刻な状況となりました。電力、ガス、石油、石炭の価格は、ロシアの政策により欧州で極めて高い水準で推移しており、欧州の景気後退が差し迫っているとの懸念が広がっています。欧州経済の混乱の結果、多くの多国籍企業が為替によるマイナスの影響を受けました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンドのポートフォリオについて

期を通じて、環境ロング・ショート・ジャパン・マスター・リミテッド（クラスA-JPY為替ヘッジなし）の組入比率を高位に維持しました。

## 環境ロング・ショート・ジャパン・マスター・リミテッド（クラスA-JPY為替ヘッジなし）のポートフォリオについて

主に持続可能で脱炭素化に向けたエネルギー移行経済\*から直接的に影響を受けるセクターや企業、またはこれらのエネルギー移行経済に積極的に貢献するセクターや企業を中心に、グローバル株式を対象とした株式ロングおよびショート両面のアルファを獲得することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

当期は、全般的に経済成長懸念、インフレ、金利上昇、ロシア・ウクライナ問題、継続する新型コロナウイルスの影響が台頭し、株式市場の下落も相まって、ロング・ポジションが苦戦しました。ショート・ポジションによる利益が一部損失を相殺しましたが、損失のすべてを相殺することはできませんでした。しかし、期中に進んだ円安の影響もあり、円ベースでは前期末比で大きく上昇して期を終えました。

\* グローバル規模でのサステナブルかつ脱炭素経済への移行に貢献する経済活動を総称したものの。

## UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・マザーファンドへの投資を通じて、わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行い、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、コール・ローン等での運用を行いました。

### ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ベンチマーク対比の運用ではなく、アクティブ度の高い運用を行う方針であることから、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

### 分配金について

当期は、基準価額水準や市況動向等を勘案し、収益分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳（1万口当たり・税引前）

項目	第2期
	2022年2月3日~2022年8月2日
当期分配金	-円
(対基準価額比率)	( -%)
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	1,140円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### 投資環境の見通し

市場動向を前もって予測することはできませんが、成長にとっての課題となりうる要因が多数存在していると考えます。それでも、「エネルギー移行経済」に着目する当ファンドの投資対象分野は従来通り、ロングとショートの両サイドで豊富な収益機会を提供していると考えています。

2022年2月～2022年8月の期間におけるS&P500指数は大きく下落しましたが、金利上昇、インフレ、地政学的混乱が主な要因となりました。当ファンドのポートフォリオは、より広範なマクロ的背景を考慮して慎重にポジション構築を行いました。その結果、グロス・エクスポージャーは目標レンジの下限を下回り、ネット・エクスポージャーはニュートラルで推移しました。運用チームは、グロス・エクスポージャーを引き続き機動的に引き上げる予定ですが、中央銀行の引き締め継続と業績下方修正の可能性を反映した広範なマクロ環境に対して依然として慎重なスタンスをとっており、ネット・エクスポージャーはニュートラルな水準での推移が継続すると考えています。

### 当ファンドの今後の運用方針

環境ロング・ショート・ジャパン・マスター・リミテッド（クラスA-JPY為替ヘッジなし）の投資比率を高位に維持する方針です。

### 環境ロング・ショート・ジャパン・マスター・リミテッド（クラスA-JPY為替ヘッジなし）の今後の運用方針

市場はマクロの強烈な逆風に直面していますが、運用チームの長期的な運用プランは従来通りで、低炭素経済への移行に貢献する、あるいは移行から影響を受ける企業を見出すことです。短期的には、波乱のマクロ情勢を考慮して、ポートフォリオ全体のネット・エクスポージャーを一段と低く抑えていましたが、運用チームは好機を捉えてエクスポージャーを増やしており、グロス・エクスポージャーは僅かに上昇しています。ネット・エクスポージャーは引き続きほぼニュートラルとなりました。運用チームは、中央銀行の引き締めの継続に伴う広範なマクロ情勢と、企業決算の下方修正が続出する可能性に対して慎重なスタンスを維持していますが、エネルギー転換がもたらす投資機会に対する確信が高く、引き続き強力な投資機会を見出すことができると考えています。

### UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

UBS短期円金利プラス・マザーファンドへの投資を通じて、引き続き、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/2/3～2022/8/2		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	45円	0.420%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は10,619円です。
（投信会社）	（ 2）	（0.022）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（41）	（0.382）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 2）	（0.016）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	4	0.038	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 1）	（0.012）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（ 3）	（0.025）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（ 0）	（0.001）	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	49	0.458	

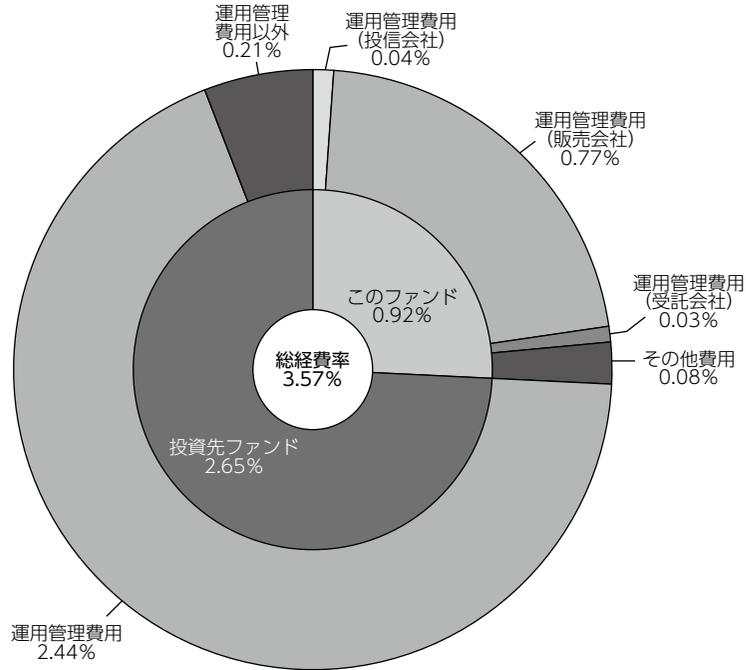
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## （参考情報） 総経費率



総経費率 (①+②+③)	3.57%
①このファンドの費用の比率	0.92%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	2.44%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.57%です。

**期中の売買及び取引の状況**（自 2022年2月3日 至 2022年8月2日）

**投資信託証券**

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	Environmental Long Short Japan Master Limited (Class A-JPY Shares)	□ 3,659	千円 37,010	□ 10,738	千円 119,010

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

**利害関係人等との取引状況等**（自 2022年2月3日 至 2022年8月2日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

**組入資産明細表**（2022年8月2日現在）

**ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細**

ファンド名	期 首	当 期		末
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	□ 10,058	□ 10,058	千円 9	% 0.0
Environmental Long Short Japan Master Limited (Class A-JPY Shares)	105,377	98,298	1,102,318	99.7
合 計	115,435	108,356	1,102,328	99.7

(注) 単位未満は切り捨て。

**投資信託財産の構成**

(2022年8月2日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 9	% 0.0
投 資 証 券	1,102,318	99.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	8,620	0.8
投 資 信 託 財 産 総 額	1,110,947	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年8月2日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,110,947,136円
コール・ローン等	8,608,779
投資信託受益証券(評価額)	9,988
投資証券(評価額)	1,102,318,369
未 収 入 金	10,000
(B) 負 債	5,077,558
未 払 金	10,000
未 払 信 託 報 酬	4,645,651
未 払 利 息	24
そ の 他 未 払 費 用	421,883
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,105,869,578
元 本	992,961,341
次 期 繰 越 損 益 金	112,908,237
(D) 受 益 権 総 口 数	992,961,341口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,137円

〈注記事項〉

期首元本額	1,050,523,145円
期中追加設定元本額	48,064,012円
期中一部解約元本額	105,625,816円
1口当たり純資産額	11,137円

## 損益の状況

(自2022年2月3日 至2022年8月2日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 3,359円
支 払 利 息	△ 3,359
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	143,326,095
売 買 損 益	155,465,760
売 買 損 益	△ 12,139,665
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,067,534
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	138,255,202
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 24,997,928
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 349,037
(配 当 等 相 当 額)	(△ 543)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 348,494)
(G) 計 (D+E+F)	112,908,237
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	112,908,237
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 349,037
(配 当 等 相 当 額)	(△ 543)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 348,494)
分 配 準 備 積 立 金	113,260,633
繰 越 損 益 金	△ 3,359

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(113,260,633円)より分配対象収益は113,260,633円(10,000口当たり1,140円)ですが、分配を行っておりません。

## ケイマン籍外国投資信託 環境ロング・ショート・ジャパン・マスター・リミテッドの運用状況

## &lt;参考情報&gt;

当ファンドは、「UBS環境ロング・ショート・ファンド」の各ファンドが投資対象とする外国投資証券です。ご参考として、掲載されている当ファンドの損益計算書及び有価証券明細表は、2021年12月30日現在の現地 Annual Reportからの抜粋であり、現地の会計基準に基づき作成され、監査を受けたものです。なお、有価証券明細表は当該監査の対象外であり、未監査ものを掲載しております。

## 損益計算書

自 2021年10月1日 至 2021年12月30日  
米ドル

投資有価証券、デリバティブ取引および外国通貨取引に係る実現および未実現利益（損失）	
投資有価証券および外国通貨取引に係る実現純利益	454,351
デリバティブ取引および外国通貨取引に係る実現純利益	237,302
投資有価証券および外国通貨取引に係る未実現評価益（損）	(1,347,206)
デリバティブ取引および外国通貨取引に係る未実現評価益（損）	(43,756)
投資有価証券、デリバティブ取引および外国通貨取引に係る純損失	(699,309)
<b>投資収益</b>	
配当金（外国源泉徴収税控除後 \$8,652）	33,320
利息	3,070
投資収益合計	36,390
<b>費用</b>	
配当金	67,414
利息	11,595
運用管理報酬	30,585
運用報酬	85
その他	83,986
費用合計	193,665
投資純損失	(157,275)
純資産の純変動額	(856,584)

2021年12月30日現在の有価証券明細表（未監査）

銘柄	株数	通貨	米ドル建て評価額
<b>現金および同等物</b>			
Canadian Dollar	164,103.83	CAD	128,799.80
Danish krone	1,744,014.85	DKK	265,596.80
Euro	199,007.50	EUR	225,375.99
Japanese yen	168,311.49	JPY	1,462.56
Pound Sterling	4,399.48	GBP	5,938.86
U. S. Dollars	27,528,321.53	USD	27,528,321.53
<b>小計</b>			<b>28,155,495.54</b>
<b>借入</b>			
Euro	-2,218,305.72	EUR	-2,512,231.23
Hong Kong Dollar	-933,925.73	HKD	-119,743.28
Norwegian Krone	-1,592,404.78	NOK	-180,675.86
Pound Sterling	-4,361.84	GBP	-5,888.05
U. S. Dollars	-79,789.67	USD	-79,789.67
<b>小計</b>			<b>-2,898,328.09</b>
<b>ロングポジション</b>			
<b>米国預託証券</b>			
NIO INC - ADR	3,387.00	USD	109,806.54
ROYAL DUTCH SHELL-SPON ADR-A	14,052.00	USD	609,856.80
XPENG INC - ADR	7,311.00	USD	357,507.90
<b>小計</b>			<b>1,077,171.24</b>
<b>普通株式</b>			
HUDBAY MINERALS INC	27,100.00	CAD	194,194.33
NFI GROUP INC	7,614.00	CAD	120,236.79
NUVISTA ENERGY LTD	76,231.00	CAD	417,622.15
TIDEWATER RENEWABLES LTD	20,664.00	CAD	238,249.87
ORSTED A/S	1,032.00	DKK	131,263.16
AKZO NOBEL N. V.	5,323.00	EUR	582,574.68
AUTO1 GROUP SE	7,318.00	EUR	161,111.63
BAYER AG-REG	11,325.00	EUR	602,801.46
COVESTRO AG	16,539.00	EUR	1,015,188.64
ENEL SPA	20,293.00	EUR	161,929.92
SIEMENS ENERGY AG	4,547.00	EUR	115,811.75
VESTAS WIND SYSTEMS A/S	2,428.00	EUR	73,334.76
CIMC ENRIC HOLDINGS LTD	100,000.00	HKD	144,882.94
ELKEM ASA	2,750.00	NOK	9,304.37
NORSK HYDRO ASA	1,375.00	NOK	10,845.74
SCATEC ASA	10,015.00	NOK	173,571.66
AES CORP	31,952.00	USD	772,279.84
ARCHAEA ENERGY INC	7,177.00	USD	124,879.80
ARRIVAL SA	12,510.00	USD	98,328.60
AZEK CO INC/THE	8,411.00	USD	382,195.84
AZURE POWER GLOBAL LTD	6,059.00	USD	108,819.64
CANADIAN SOLAR INC	3,850.00	USD	120,890.00
CELANESE CORP	1,660.00	USD	275,775.80
CHEMOURS CO/THE	9,548.00	USD	316,802.64
CLEARWAY ENERGY INC-C	3,552.00	USD	126,841.92
COMSTOCK RESOURCES INC	4,446.00	USD	36,590.58
CSX CORP	20,433.00	USD	762,559.56
CUMMINS INC	5,655.00	USD	1,231,885.20
EQT CORP	86,982.00	USD	1,917,083.28
FERROGLOBE PLC	22,226.00	USD	137,134.42
FIRST SOLAR INC	1,279.00	USD	112,603.16
FISKER INC	13,340.00	USD	215,574.40
GENERAC HOLDINGS INC	562.00	USD	198,363.52

UBS環境ロング・ショート・ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

銘柄	株数	通貨	米ドル建て評価額
GENERAL MOTORS CO	12,006.00	USD	697,908.78
INFRASTRUCTURE AND ENERGY AL	666.00	USD	6,053.94
INGEVITY CORP	1,278.00	USD	92,361.06
ITRON INC	2,065.00	USD	139,965.70
JACOBS ENGINEERING GROUP INC	2,935.00	USD	407,466.05
LI-CYCLE HOLDINGS CORP	56,061.00	USD	555,003.90
LINDE PLC	1,210.00	USD	416,639.30
LITHIUM AMERICAS CORP	3,372.00	USD	99,743.76
LYFT INC-A	3,264.00	USD	141,951.36
MASTEC INC	5,929.00	USD	545,349.42
MDU RESOURCES GROUP INC	5,824.00	USD	179,029.76
METHANEX CORP	8,506.00	USD	337,262.90
MURPHY USA INC	1,085.00	USD	215,253.15
NOUVEAU MONDE GRAPHITE INC	9,413.00	USD	67,397.08
PLUG POWER INC	3,337.00	USD	96,239.08
PPG INDUSTRIES INC	697.00	USD	119,249.73
PROTERRA INC	4,663.00	USD	41,780.48
RENEW ENERGY GLOBAL PLC-A	44,981.00	USD	345,454.08
RIVIAN AUTOMOTIVE INC-A	821.00	USD	84,907.82
SOLAREEDGE TECHNOLOGIES INC	404.00	USD	114,069.40
SOUTHWESTERN ENERGY CO	42,640.00	USD	204,672.00
STEM INC	9,774.00	USD	189,615.60
SUNLIGHT FINANCIAL HOLDINGS	32,664.00	USD	145,028.16
TE CONNECTIVITY LTD	6,984.00	USD	1,121,560.56
WESTLAKE CHEMICAL CORP	5,733.00	USD	557,534.25
XCEL ENERGY INC	839.00	USD	57,244.97
ZEVIA PBC-A	418.00	USD	2,930.18
<b>小計</b>			<b>18,073,204.52</b>
<b>株式オプション</b>			
PCG US 01/22 C10.00	123.00	USD	26,383.50
<b>株式スワップ</b>			
ESW_BUREAU VERITAS SA	9,775.00	EUR	4,882.62
ESW_EDP - ENERGIAS DE PORTUGAL SA	27,362.00	EUR	124.32
ESW_EDP RENOVAVEIS SA	5,181.00	EUR	234.70
ESW_ELECTRICITE DE FRANCE SA	30,053.00	EUR	-74,706.88
ESW_ENGIE SA	91,708.00	EUR	6,020.33
ESW_VALEO SA	2,145.00	EUR	194.34
ESW_RIO TINTO PLC	4,725.00	GBP	10,306.48
ESW_CS WIND CORP	2,055.00	USD	3,557.19
ESW_ENERGY TRANSFER EQUITY LP	10,415.00	USD	0.00
ESW_LONGSHINE TECHNOLOGY CO LTD	28,649.00	USD	-2,447.40
<b>小計</b>			<b>-51,834.30</b>
<b>上場投資信託</b>			
ISHARES MSCI USA MOMENTUM FA	134.00	USD	24,436.24
<b>優先株式</b>			
VOLKSWAGEN AG-PREF	1,449.00	EUR	291,243.35
<b>SPACユニット（普通株式およびワラントの組合せ）</b>			
BROOKFIELD RENEWABLE PARTNER	3,652.00	USD	128,148.68
<b>ショートポジション</b>			
<b>米国預託証券</b>			
VALE SA-SP ADR	-10,715.00	USD	-150,867.20

UBS環境ロング・ショート・ファンド（為替ヘッジあり） / （為替ヘッジなし）

銘柄	株数	通貨	米ドル建て評価額
<b>普通株式</b>			
CAPSTONE MINING CORP	-38,392.00	CAD	-165,126.88
IMPERIAL OIL LTD	-28,333.00	CAD	-996,024.71
AP MOLLER-MAERSK A/S-B	-152.00	DKK	-542,824.08
BASF SE	-6,187.00	EUR	-432,878.71
BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG	-2,165.00	EUR	-216,965.31
SIEMENS AG-REG	-665.00	EUR	-114,985.22
3M CO	-1,739.00	USD	-308,915.96
ALBEMARLE CORP	-1,753.00	USD	-410,815.55
ALLIANT ENERGY CORP	-6,321.00	USD	-388,425.45
AMEREN CORPORATION	-6,567.00	USD	-584,857.02
APTIV PLC	-2,717.00	USD	-443,251.38
CABOT CORP	-4,104.00	USD	-227,772.00
CARMAX INC	-1,656.00	USD	-212,282.64
CARRIER GLOBAL CORP	-8,046.00	USD	-430,863.30
CHEVRON CORP	-1,174.00	USD	-137,862.82
COCA-COLA CO/THE	-2,527.00	USD	-148,537.06
DEVON ENERGY CORP	-3,601.00	USD	-157,255.67
DIAMONDBACK ENERGY INC	-5,399.00	USD	-579,366.69
DOW INC	-5,468.00	USD	-310,473.04
EASTMAN CHEMICAL CO	-2,934.00	USD	-351,199.80
ECOLAB INC	-1,940.00	USD	-453,979.40
ENPHASE ENERGY INC	-2,933.00	USD	-546,740.53
EVOQUA WATER TECHNOLOGIES CO	-1,390.00	USD	-64,537.70
EXXON MOBIL CORP	-2,215.00	USD	-134,649.85
GENERAL ELECTRIC CO	-1,395.00	USD	-132,106.50
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	-7,039.00	USD	-1,434,055.47
HUNTSMAN CORP	-11,043.00	USD	-383,854.68
ITT INC	-7,684.00	USD	-783,537.48
LIVENT CORP	-5,136.00	USD	-127,218.72
LUCID GROUP INC	-7,108.00	USD	-275,435.00
MP MATERIALS CORP	-7,519.00	USD	-340,309.94
NEXTERA ENERGY INC	-3,533.00	USD	-327,756.41
OLD DOMINION FREIGHT LINE	-4,692.00	USD	-1,671,618.84
OLIN CORP	-813.00	USD	-46,674.33
P G & E CORP	-12,300.00	USD	-148,461.00
PACCAR INC	-1,589.00	USD	-138,910.38
PHILLIPS 66	-1,916.00	USD	-138,814.20
RANGE RESOURCES CORP	-14,945.00	USD	-273,045.15
ROCKWELL AUTOMATION INC	-4,253.00	USD	-1,475,110.52
ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	-1,898.00	USD	-146,810.30
RPM INTERNATIONAL INC	-2,867.00	USD	-286,499.31
SMITH (A. O.) CORP	-4,382.00	USD	-373,740.78
SOUTHWEST AIRLINES CO	-2,985.00	USD	-127,519.20
SUNPOWER CORP	-3,264.00	USD	-68,576.64
TESLA INC	-342.00	USD	-366,056.28
TRINSEO PLC	-4,450.00	USD	-233,313.50
TYSON FOODS INC-CL A	-1,679.00	USD	-144,931.28
WATSCO INC	-2,105.00	USD	-650,297.65
ZOETIS INC	-1,829.00	USD	-448,397.64
<b>小計</b>			<b>-18,903,641.97</b>
<b>株式スワップ</b>			
ESW_GAMESA CORP TECNOLOGICA SA	-1,644.00	EUR	1,427.22
<b>現物商品先物</b>			
NATURAL GAS FUTR Dec22	-14.00	USD	42,865.26

## UBS環境ロング・ショート・ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

銘柄	株数	通貨	米ドル建て評価額
<b>未収配当金</b>			
Canadian Dollar	1,900.39	CAD	1,491.55
South Korean won	1,233,000.00	KRW	1,036.96
U. S. Dollars	5,145.07	USD	5,145.07
<b>小計</b>			<b>7,673.58</b>
<b>外国先物為替取引未収金</b>			
JPY. FWD	306,000,000.00	JPY	2,659,370.74
USD. FWD	80,288.81	USD	80,288.81
<b>小計</b>			<b>2,739,659.55</b>
<b>未収金</b>			
Canadian Dollar	53,472.39	CAD	41,968.77
Euro	125,694.77	EUR	142,349.32
U. S. Dollars	588,798.83	USD	588,798.83
<b>小計</b>			<b>773,116.92</b>
<b>未払源泉徴収額</b>			
U. S. Dollars	-657.48	USD	-657.48
<b>未払管理費用</b>			
U. S. Dollars	-34,525.34	USD	-34,525.34
<b>未払監査報酬</b>			
U. S. Dollars	-7,479.29	USD	-7,479.29
<b>未払銀行手数料</b>			
U. S. Dollars	-1,196.65	USD	-1,196.65
<b>未払販売会社報酬</b>			
U. S. Dollars	-4,985.89	USD	-4,985.89
<b>未払配当金</b>			
Canadian Dollar	-7,174.44	CAD	-5,630.99
U. S. Dollars	-13,221.68	USD	-13,221.68
<b>小計</b>			<b>-18,852.67</b>
<b>未払外国口座税務コンプライアンス手数料</b>			
U. S. Dollars	-149.24	USD	-149.24
<b>未払財務諸表作成手数料</b>			
U. S. Dollars	-2,119.39	USD	-2,119.39
<b>外国先物為替取引未払金</b>			
JPY. FWD	-9,114,908.00	JPY	-79,215.42
USD. FWD	-2,696,657.70	USD	-2,696,657.70
<b>小計</b>			<b>-2,775,873.12</b>
<b>未払弁護士費用</b>			
U. S. Dollars	58,958.90	USD	58,958.90
<b>未払運用管理報酬</b>			
Japanese yen	-3,479,111.84	JPY	-30,584.93
<b>未払金</b>			
Japanese yen	0.00	JPY	352.82
U. S. Dollars	-332,275.74	USD	-332,275.74
<b>小計</b>			<b>-331,922.92</b>
<b>合計</b>			<b>26,186,766.02</b>

## UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

## 参考情報

当ファンドは、「UBS環境ロング・ショート・ファンド」の各ファンドが投資対象とする国内投資信託証券です。ご参考として第13期決算日（2022年1月20日）の運用状況をご報告申し上げます。

## UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	税 込 配 分 金	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
				比	比	
9期（2018年1月22日）	円 9,997	円 0	% △0.1	% —	% —	百万円 40
10期（2019年1月21日）	9,982	0	△0.2	—	—	40
11期（2020年1月20日）	9,967	0	△0.2	—	—	40
12期（2021年1月20日）	9,953	0	△0.1	—	—	15
13期（2022年1月20日）	9,938	0	△0.2	—	—	8

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2021年 1月20日	円 9,953	% —	% —	% —
1月末	9,952	△0.0	—	—
2月末	9,951	△0.0	—	—
3月末	9,950	△0.0	—	—
4月末	9,949	△0.0	—	—
5月末	9,948	△0.1	—	—
6月末	9,947	△0.1	—	—
7月末	9,946	△0.1	—	—
8月末	9,944	△0.1	—	—
9月末	9,943	△0.1	—	—
10月末	9,942	△0.1	—	—
11月末	9,941	△0.1	—	—
12月末	9,940	△0.1	—	—
(期 末) 2022年 1月20日	9,938	△0.2	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項目	第13期	
	2021年1月21日～2022年1月20日	
当期分配金	-円	
(対基準価額比率)	(-%)	
当期の収益	-円	
当期の収益以外	-円	
翌期繰越分配対象額	75円	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2021/1/21～2022/1/20		
	金額	比率	
信託報酬	4円	0.044%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,946円です。
(投信会社)	(1)	(0.011)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.032)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.002)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	4	0.046	

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

親投資信託受益証券の設定、解約状況 (自 2021年1月21日 至 2022年1月20日)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	20	20	7,000	7,000

(注) 単位未満は切り捨て。

利害関係人等との取引状況等 (自 2021年1月21日 至 2022年1月20日)

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表

親投資信託残高

(2022年1月20日現在)

項 目	期 首	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	15,588	8,608	8,602

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## 投資信託財産の構成

（2022年1月20日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	千円 8,602	% 99.8
コール・ローン等、その他	15	0.2
投資信託財産総額	8,617	100.0

（注）金額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2022年1月20日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,617,321円
コール・ローン等	14,383
UBS短期円金利プラス・マザーファンド(評価額)	8,602,938
(B) 負 債	1,953
未払信託報酬	1,866
その他未払費用	87
(C) 純資産総額(A-B)	8,615,368
元 本	8,668,768
次期繰越損益金	△ 53,400
(D) 受益権総口数	8,668,768口
1口当たり基準価額(C/D)	9,938円

〈注記事項〉

期首元本額 15,687,365円  
 期中追加設定元本額 20,116円  
 期中一部解約元本額 7,038,713円  
 1口当たり純資産額 0.9938円  
 純資産総額が元本を下回っており、その差額は53,400円です。

## 損益の状況

（自2021年1月21日 至2022年1月20日）

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 6,803円
売 買 益	3,497
売 買 損	△ 10,300
(B) 信託報酬等	△ 5,413
(C) 当期損益金(A+B)	△ 12,216
(D) 前期繰越損益金	△ 44,285
(E) 追加信託差損益金	3,101
(配当等相当額)	( 4,222)
(売買損益相当額)	(△ 1,121)
(F) 計 (C+D+E)	△ 53,400
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△ 53,400
追加信託差損益金	3,101
(配当等相当額)	( 4,221)
(売買損益相当額)	(△ 1,120)
分配準備積立金	60,965
繰越損益金	△117,466

（注1）損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（0円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（4,221円）および分配準備積立金（60,965円）より分配対象収益は65,186円（10,000口当たり75円）ですが、分配を行っておりません。

## UBS短期円金利プラス・マザーファンドの運用状況

## 参考情報

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ご参考として、第13期決算日（2022年1月20日）の運用状況をご報告申し上げます。

## UBS短期円金利プラス・マザーファンド

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
			比	比	
9期（2018年1月22日）	円 10,035	% △0.1	% —	% —	百万円 40
10期（2019年1月21日）	10,025	△0.1	—	—	40
11期（2020年1月20日）	10,014	△0.1	—	—	40
12期（2021年1月20日）	10,004	△0.1	—	—	15
13期（2022年1月20日）	9,994	△0.1	—	—	8

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2021年 1月20日	円 10,004	% —	% —	% —
1月末	10,004	0.0	—	—
2月末	10,003	△0.0	—	—
3月末	10,002	△0.0	—	—
4月末	10,002	△0.0	—	—
5月末	10,001	△0.0	—	—
6月末	10,000	△0.0	—	—
7月末	9,999	△0.0	—	—
8月末	9,998	△0.1	—	—
9月末	9,997	△0.1	—	—
10月末	9,997	△0.1	—	—
11月末	9,996	△0.1	—	—
12月末	9,995	△0.1	—	—
(期 末) 2022年 1月20日	9,994	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

### 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

### 期中の売買及び取引の状況（自 2021年1月21日 至 2022年1月20日）

該当事項はありません。

### 主要な売買銘柄（自 2021年1月21日 至 2022年1月20日）

該当事項はありません。

### 利害関係人等との取引状況等（自 2021年1月21日 至 2022年1月20日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

（注）利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

### 組入資産明細表（2022年1月20日現在）

2022年1月20日現在、有価証券等の組入はありません。

## 投資信託財産の構成

（2022年1月20日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 8,603	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	8,603	100.0

（注）金額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2022年1月20日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,603,221円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	8,603,221
(B) 負 債	24
未 払 利 息	24
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	8,603,197
元 本	8,608,103
次 期 繰 越 損 益 金	△ 4,906
(D) 受 益 権 総 口 数	8,608,103口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	9,994円

〈注記事項〉

期首元本額 15,588,797円  
 期中追加設定元本額 20,007円  
 期中一部解約元本額 7,000,701円  
 1口当たり純資産額 0.9994円  
 純資産総額が元本を下回っており、その差額は4,906円です。

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け） 8,608,103円

## 損益の状況

（自2021年1月21日 至2022年1月20日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△12,393円
支 払 利 息	△12,393
(B) 当 期 損 益 金(A)	△12,393
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	6,793
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 7
(E) 解 約 差 損 益 金	701
(F) 計 (B+C+D+E)	△ 4,906
次 期 繰 越 損 益 金(F)	△ 4,906

(注1) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。